

## 第1期府中市こども計画（案）に対するパブリックコメント（意見募集）の実施結果について

### 1 意見募集の概要

募集期間	令和7年1月16日（木）から令和7年2月3日
公表場所	・健康福祉部子育て応援課子育て企画係 ・上下支所市民生活係 ・府中市ホームページ
意見提出方法	持参、郵送、電子メール、ファックス
意見提出先	健康福祉部子育て応援課子育て企画係

### 2 意見募集の結果

意見提出者数        8名  
意見件数             33件

### 3 提出された主なご意見とご意見に対する本市の考え方

※いただいたご意見につきましては趣旨を踏まえて要約しています。また、類似したご意見は集約しています。

	該当箇所	ご意見等の概要	ご意見に対する市の考え方
全体			
1	全体	<p>短期・中期・長期で異なり、その際の予算建て次第で、出来るか否かは分かれる。まず短期的には、国の地方創生基金の活用で、子育て世代に（教育限定）現金（ポイント）給付（※格差抑制の為、所得制限を設ける）さらに、教育環境の充実！高校までの教育費！医療費！の完全無償化も実現。中・長期的には、クラウドファンディングやふるさと納税制度も利用しながら予算計上！からの、政策継続！大規模企業誘致や各種産業の見直し！などで経済の活性化を図り、雇用の創設！人口増加！医療！教育！福祉！の充実！で、不安無く安心出来る生活環境（全国から転入を目指す町！後々、子供達が府中市で良かった！と思える）を作り上げる。ここまで出来て、初めて子供計画達成！と言えるのではないか。具体的には、51年前の人口まで戻すには！などの想像力やシミュレーション能力が試されると思う。</p>	<p>本計画は令和7年度から令和11年度までの5年間で計画期間としており、中期的な計画となっております。また、上位計画である「第5次府中市総合計画」は令和2年度から令和11年度までの10年間で計画期間とし、長期的な計画として策定しております。</p> <p>本計画は子ども・子育て支援事業計画を包含しており、子ども・子育て支援事業について、3年目に中間年の見直しを図ることとしております。さらに、第5次府中市総合計画を踏まえ、政策・施策の執行進度や社会情勢の変化などを考慮して、必要に応じて見直しを図ってまいります。</p>
2	全体	<p>(1)パブリックコメントは5年に一回だと期間が長すぎる。悩みが出てきた時に5年後に意見を出すのでは意味がないと思う。2・3年に1回にしてはどうか。</p>	<p>(1)この度のパブリックコメントは5年を一期とした本計画策定のために実施しているものです。ご相談やご意見等は各関係窓口で随時受け付けておりますので、ご利用ください。</p>

	該当箇所	ご意見等の概要	ご意見に対する市の考え方
		(2)こども案の資料の内容が多すぎて、この度の募集でどれだけの意見が集まるのか心配。本当に市民の声を聞いて、市をより良くしたいならわかりやすいスライド等にまとめて見やすくすると、私たちも意見がだしやすい。	(2)今後、本計画の概要版を作成し、市民の皆様へ周知してまいります。
3	全体	全体的に今後の施策や方向性についての具体が分かりにくいので、さらに具体的なことを盛り込んだ案を知りたい。	本計画は、市が今後どのように施策を進めていくかの方向性を示すものであります。各事業の詳細につきましては、市のホームページなどで周知してまいります。また、情報の発信の方法につきましても、今後、検討してまいります。
4	全体	子育て、教育に関する計画にも関わらず、学校・教育委員会との連携の具体案がない。全体的に0～5歳児へのこども計画にしか感じとれない。	本計画において、教育に関する事項は第4章2基本目標1に盛り込んでおります。また、教育に関する計画は令和5年度から令和9年度を計画期間とする「第2期府中市教育振興基本計画」を策定しております。府中市教育振興基本計画を踏まえ、今後も、担当課と連携を図り、必要に応じて見直しを図ってまいります。
5	第1期府中市こども計画（案）の意見募集（パブリックコメント）	新聞をとっていない人、SNSを利用しない人等には市の取り組みを知らない方が多くいるため、企画、意見募集の情報の提供方法を検討していただきたい。一握りの決まったところからの意見のみでは、アンケート・意見募集の意味がない。	情報の発信方法につきましては、今後、検討してまいります。

	該当箇所	ご意見等の概要	ご意見に対する市の考え方
第2章 府中市のこども・子育てに関する現況と課題			
6	P37 2 各種調査結果の概要(6) 関係団体ヒアリング概要	実施機関・事業者等に学校、放課後児童クラブ、関連企業等が入っていないのはなぜか。こども・保護者目線はもちろんだが、連携する地域・事業所等からの意見も必要。	定期的に指定管理事業者や委託事業者等の関係機関と協議を行い連携を図っております。今後も、関係機関と連携し、必要に応じて見直しを図ってまいります。
7	P38 関係団体ヒアリング結果について	(1)支援センターの利用時間を9時半ごろ開館、4時半閉館のように拡大をしていただきたい。また、給食の利用ができるようになればありがたい。  (2)小児科を増やしてほしい。また、府中市には産婦人科がないため、より専門医療が充実するよう計画を進めてほしい。  (3)公園については、各地域の数が少ないだけでなく、小さい子が遊ぶ遊具がない。小さい子専用の遊具や砂場、芝生の公園を増やすなどの充実をしてほしい。	(1)支援センターの利用時間については、開館準備、清掃、消毒等があるため現状の運営時間になっておりますが、ニーズを把握しながら検討してまいります。  また、支援センターでは給食の提供はありませんが、試食等に関しては対応可能な施設で検討してまいります。  (2)下記、該当箇所P66「医療を受けやすい環境づくり」の市の考え方をご確認ください。  (3)幼児の利用を想定した遊具の設置については、今後公園の整備や遊具の更新を行う際に、地域や関係部署と連携し、子育て環境に魅力ある公園施設の充実を図ってまいります。  なお、府中市こどもの国ポムポムの屋外遊具には、ハンディキャップの有無に左右されることな

	該当箇所	ご意見等の概要	ご意見に対する市の考え方
		<p>(4)図書館の立地が悪く、行きづらい。また、駐車場が地下にあるため、利用しづらく、利用回数、頻度ともに少ない。図書館で絵本を借りて子どもに絵本をたくさん読み聞かせしたいので、利用しやすいようにしてほしい。</p>	<p>く、誰でも楽しむことのできる「インクルーシブエリア」があり、遊具に登らなくても遊ぶことのできるパネル遊具や車いすで通ることのできるスロープなどを配置しております。</p> <p>(4)図書館の駐車場は地下及び地上（バス通り沿い）に設置しております。より利用しやすい施設となるよう駐車場を含め、関係部署と連携し周辺整備を進めたいと考えております。</p>
8	P41 府中市子育ての課題・方向性について	<p>(1)実際途中入所する子は希望する園に入所できなかったり、生まれ月が早生まれの子は入所できなかったりする実態がある。0～2歳の子どもの保育料が無料になったことはありがたかったが、そのことで入所する子が増え、年度途中で入所する際に空いている保育所が少なく不安だった。受け入れ人数を増やしたり、職員の数を増やしたりするなど、できることから対策してほしい。</p>	<p>(1)保育所の運営においては、児童福祉法で定められた「面積基準」を遵守する必要があり、各保育所（園）で児童の受入れ可能人数が決まっております。この面積基準を満たさない場合、安全かつ適切な保育環境を維持することが困難となり、認可基準を維持できなくなります。</p> <p>施設の面積拡充については、多額の費用を要することや、地域の人口動向や将来的な保育需要の変化を考慮するなど、慎重な検討が必要です。</p> <p>なお、産後休暇・育児休業から職場復帰する場合、府中市独自の制度としまして入所予約制度があります。</p>

	該当箇所	ご意見等の概要	ご意見に対する市の考え方
		(2)市民にとって便利な街の導線をつくってもらいたい。天満屋内や天満屋の徒歩圏内に子育て世代向けの店舗やファミリーレストランなどの飲食店を誘致するなどすると、ちゅちゅを利用したついでに買い物ができるので、さらに利用者や移住者が増えると思う。	(2)現在、府中天満屋2階 i-coreFUCHU 内にカフェを開設しております。店内中央には小上がりスペースもあり、こどもも一緒に気軽に安心してご利用いただけるスペースとなっております。また、隣接している道の駅「びんご府中」内のレストランにはキッズスペースを設けております。いただいたご意見は、今後の施策の参考とさせていただきます。
第3章 計画の基本的な考え方			
9	P46 基本理念	計画名が「こども計画」ということもあり、子育てや子育てなど子どもを意識した用語や表現が並んでいるが、少子化が進んでいる中、「親育ち」の重要性が増していると思う。「子育てっていいな」と思えるのは、やはり「親育ち」の観点で親や家族の成長にもつながるからであると考えている。府中市は子育て支援策を強力に推進しており、施策を体系的に見てみると子どもだけでなく、親・家族に対する施策も積極的に実施していることから、この計画のメッセージ性を高めるためにも、「親育ち」の理念も明記する方が良いのではないかと？	本計画は子育て当事者も計画の対象としており、親子の成長と交流の場の支援、地域子育て支援及び共育の推進等の施策を実施しております。「親育ち」という表記はしていませんが、保護者の皆様につきましても心身共に健やかに成長し生活が送れるよう基本理念の考え方として掲げております。今後も保護者の皆様が子育てに喜びを感じられるような施策を取り組んでまいります。

	該当箇所	ご意見等の概要	ご意見に対する市の考え方
第4章 施策の展開			
10	P50～ (1) (2) (3) について	<p>(1)産後ケア事業は上の子がいたらサービス利用をするのは難しい。家族で行くことができる宿泊型の産後ケア施設を利用することができるような支援の充実があれば利用したい家族がたくさんいると思う。</p> <p>(2)母子モというアプリの活用の仕方が分からないので、活用の仕方を教えてほしい。</p> <p>(3)男性がなかなか気軽に支援センターに行きづらい傾向にある。他のパパとの交流の機会や顔見知りになる機会がもっと頻繁にあれば、気軽に参加できるようになるのではないかと思う。</p>	<p>(1)本市では現在、生まれたお子様の御兄姉の受け入れもできる施設を検討している段階です。より利用しやすくなるよう事業内容を見直してまいります。</p> <p>(2)母子モの活用方法は予防接種の管理やお子さんの身長体重を成長曲線で見ること、できたよ記録日などでお子さんの成長の記録ができます。また、集団健診の日が近づくとリマインダーが届いたり、子育てに関する情報がお知らせで届くなどお子さんに関する情報を手軽に得ることができます。</p> <p>(3)パパママ教室、男性の育児支援については、ニーズを把握しながら、充実した内容を検討してまいります。</p>
11	P51 2 基本目標1 (2)こどものすこやかな成長と子育て不安の軽減への支援について	陣痛タクシー(子育てタクシー)がある方がもっと気が楽になるので、こういうサポートはしてほしい。陣痛時すぐに行ける手段が車しかないが、府中市には産科が無いため、一番近い病院でも35～40分かかる。陣痛が来た時はこの時間内で産まれる気がしてとても怖い思いをした。	いただいたご意見は今後も課題として検討してまいります。陣痛が来た際は、医療機関に相談したうえでタクシーや救急車をご利用ください。

	該当箇所	ご意見等の概要	ご意見に対する市の考え方
12	P51 2 基本目標1 ライフステージ に応じたウェル ビーイングの実 現の中のこども のケガや病気の 対応について	(1)府中市には休日当番医があるが、祝日や休日に子どもを休日当番医に連れて行くと「11歳以上しか診られません。」と言われ大変困った。府中市でも休日に子どもを診られるようにしてほしい。 (2)オンライン診察もこども医療費の対象にしてほしい。後で払った分の医療費の申請をしなくてもいいようなアプリの導入をお願いしたい。	(1)下記、該当箇所 P66「医療を受けやすい環境づくり」の市の考え方をご確認ください。  (2)オンライン診療も保険適用の受診であれば、こども医療費助成の対象になります。窓口で償還払いの申請をすると、払戻しを受けることができます。いただいたご意見は、今後の施策の参考とさせていただきます。
13	P51 (2)こどもの健 やかな成長と子 育て不安の軽減 への支援につい て	助産師相談について、気軽に相談できる機会が欲しい。月一回の助産師相談は一度利用すると、それ以降の相談ができないため、改善を求める。	現在、助産師相談は月1回の開催で定員が2名となっており、多数のお申し込みがあった場合は、ご希望に沿えないこともあります。 本市では助産師相談以外にすくすく相談（月2回）の開催や子育てステーションには保健師や保育士が常駐しておりますので、気軽にご相談ください。 今後もニーズを把握しながら、より良い相談対応ができるよう検討してまいります。
14	P53 教育環境の充実	中学校の部活動の地域移行がニュースになることがあるが、中学校だけでなく小学校の部活動の存続も危惧される。児童も教え手も少なくなり、昔は当たり前にあった学校別で競う大会も無くなり、練習試	今後の府中市の部活動の在り方について、協議をしているところです。学校単位から地域単位の活動にすることで、活動の充実につなげていきたいと考えております。その中で、将来的には、対象者を小

	該当箇所	ご意見等の概要	ご意見に対する市の考え方
		合すら組めない状況である。部活動に対する支援も必要なのではないか。	学生まで広げることができるよう、運営体制を整えることも検討してまいります。
15	P59 公園の整備	ポムポムへの大型遊具の整備は大いに評価できる一方で、地域の公園は廃止や遊具が老朽化している。怪我の危険性や公園の魅力低下にもつながるので、遊具の更新を進めることを要望する。	公園遊具の老朽化については、定期的な点検を行い、危険箇所があった際は、修繕など必要な措置を講じています。より魅力ある地域の公園とするため、公園施設長寿命化計画に基づき、施設の計画的な更新等を図ってまいります。
16	P65 医療費の助成	(1)子どもの医療費は金銭的負担になるため、助成制度があることは評価できる一方で、完全無償化には至っておらず、近隣市町も同様に横並びの状況である。医療政策は国・県が主導だということも理解できるが、全国的に見ると独自で完全無償化を実現している自治体も存在しており、近隣市町との差異化、府中市における医療機関（特に産科・小児科）が不十分ということを踏まえ、保育料と同様に、医療費も完全無償化を進めるべきではないか？  (2)出産祝い金やおむつなど乳児用品の支給、小中学校における給食費の無償化など、国・県の出方を待つのではなく、更なる独自施策を積極的に実施すべ	(1)こども医療費については、市内の全てのこどもの保健対策の充実と子育て世帯の経済的負担軽減を目的として、令和5年10月1日から助成の対象を18歳までに拡大し、また所得制限も撤廃をいたしました。  また、府中市においてはこども医療費助成や保育料無償化などの経済的支援のみではなく、妊娠期から子育て期まで切れ目なく子育て支援を行う環境整備を進めているところです。現在のところ、こども医療費の無償化について予定はありませんが、引き続き子育てしやすいまちを目指して施策の推進に努めてまいります。  (2)本市では妊娠届出や出生届出をした妊婦又は養育者に対して、出産や育児に必要な用品購入費や子育て支援サービスの利用費など、経済的負担を軽減

	該当箇所	ご意見等の概要	ご意見に対する市の考え方
		きではないか。	<p>するために、経済的支援として出産応援ギフト及び子育て応援ギフトを支給しております。</p> <p>また、学校給食負担金の無償化については、多額の経費負担を伴うことから、各自治体が個々に対策を講じるのではなく、国において一律に検討されるべきものと考えており、今後も国の動向を注視しながら施策を進めてまいります。なお、現在のところ国からの経済対策臨時交付金（物価高騰）を給食賄材料費に充てることにより、保護者負担の軽減を図っているところです。</p> <p>いただいたご意見は、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
17	P65 4 基本目標 3(2) 地域における子育て支援の充実について	日曜日に小さい子どもを連れて室内で遊べる場所を増やすか、ちゅちゅの毎週日曜日の開所を求める。平日と土曜日は他の支援センターが空いているので良いが、日曜日はどこも閉まってしまうので行く場所がない。親が子どもをしっかりと見ることを前提とし、先生の配置は0～1人でも構わない。ポムポムもあるが、日曜日になると大きい子が多く、乳児を連れて行くのが大変。また、各所から人が来るので人数制限で入れない時もある。	<p>第2、第4日曜日は、開館しておりますので、ご利用ください。今後の開館日については、ニーズを把握しながら検討してまいります。</p> <p>また、ポムポムの屋内施設利用については、安全・安心に楽しんでいただけるよう人数制・時間制を導入しておりますのでご理解ください</p> <p>ポムポムでは幅広い年齢層が楽しめるよう、乳幼児・児童向けの木育プレイルームエリア、体を動かして遊ぶことのできるボルタリング・マット遊具のあるエリア、図書コーナーを設置しております。ま</p>

	該当箇所	ご意見等の概要	ご意見に対する市の考え方
18	P65 地域における子育て支援の充実	2年前までの天満屋の支援センターちゅちゅが土日開いてた頃は本当にありがたかった。現在土日両方開いていない時もあったり、どちらかは休みという形だと日曜日どこも空かない。(ポムポムは、子供が小さいため大きい子たちとの接触が怖い)	た、屋外遊具では、ハンディキャップの有無に左右されることなく、誰でも楽しむことのできる「インクルーシブエリア」があり、遊具に登らなくても遊ぶことのできるパネル遊具や車いすで通ることのできるスロープなどを配置しております。
19	P65 子育てができる環境の確保について	支援センターの日曜日開催を増やしてほしい。子育てステーションちゅちゅ以外にも日曜日に子どもを遊びに連れて行ける場所があるとさらに子育てしやすいと思う。	
20	P65 保育料の軽減	保育料の無償化は、近隣市町との差異が鮮明となっており、称賛に値する良質な施策である一方で、保育所の入所要件のハードルが高く、0～2歳児を入所させることができない世帯が存在している。府中市の少子化は急速に進行しており、保育量の見込みも減少しているが、この状況下では、保育所の存続や保育士の雇用にも影響が及び、負のスパイラルに陥ってしまう危険性がある。備後圏域での広域入所を推進する前に、市内の0～2歳児が入所しやすい要件への見直し（国の要件に準じる必要があるのであれば、規制緩和を要望するなど）を進めるべきではないか。	<p>保育所については、就労や疾病などで保育が必要な方に利用いただく施設となっており、国の基準を基に定めております。</p> <p>なお、就労での利用の場合、月の就労時間の最低基準について、国の基準では48～64時間内で各自治体で定めることとなっておりますが、府中市においては48時間以上としており、利用しやすい環境となっております。</p> <p>また、産後休暇・育児休業から職場復帰する場合の入所予約制度を府中市独自で取り入れています。</p> <p>今後、0～2歳児が入所要件なしに利用できる「こども誰でも通園制度」の令和8年度からの実施に向けて、こどもを中心に、こどもの健全な成長を</p>

	該当箇所	ご意見等の概要	ご意見に対する市の考え方
			第一に考えながら、府中市の実情にあった制度となるよう検討してまいります。
21	P65 子育て支援拠点の充実（子育て支援センター、保育所（園）、幼稚園）	スマート保育の推進が不十分に感じられる。例えば、保育所の出欠はアプリで連絡できるが、日々の連絡帳は手書きで、お便りもプリント配付である。手元に残るので、古き良き慣習として一概に悪いとは言えないが、スマート保育は保育士の働き方改革につながり、連絡帳では写真が添付できるようになるなどサービスも充実するので、行政としてスマート保育の推進を強力に推進すべきではないか。	出欠席連絡については、現在保育システムを活用しておりますが、保育士の働き方改革と合わせて保護者の方々の利便性を考慮し、お便りのアプリでの配信を検討しているところです。導入内容に関しまして、個人情報取り扱いに配慮する必要があるため、慎重に検討してまいります。
22	P65 子育てができる環境の確保について	(1)パートナー支援事業が具体的にどのような内容なのか知りたい。  (2)ファミリー・サポート事業の利用の仕方や利用に至るまでのハードルが高く、もっと気軽に利用できるよう制度を整えてほしい。	(1)パパひろば（男性の子育て応援）として、毎月1回（製作・リトミック・ふれあい遊び等）開催しております。男性の育児参加を促進し、良好な親子関係の育成を支援しております。また交流の場として親同士のつながりも促します。 (2)ファミリー・サポート事業は子育てを応援してほしい方（依頼会員）と子育てを応援したい方（提供会員）が、互いに会員となって安心して子育てをするための相互援助活動です。お気軽にご利用いただけるよう、制度の周知を図ってまいります。
23	P65・66 地域における子	(1)『遊ぶ場所がない』＝『集い交流する場所がない』ということだと思う。	(1)TTCアリーナ（旧称ウッドアリーナ）の活用については、開業時間帯で大会等での占有利用がない場

	該当箇所	ご意見等の概要	ご意見に対する市の考え方
	<p>育て支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内での交流促進</li> <li>・地域の居場所づくり支援</li> </ul>	<p>ウッドアリーナが活用されていない。子供も大人も一緒に運動をし、笑い楽しめる場所にしてもらいたい。ウッドアリーナの横にプールをつくり、高校生、大人もたのしめるアスレチックなど、木材を活用した遊び場を整備し、一日中すごせる公園を作り、人が集まり、子供達の声がひびく場所をつくってほしい。そこがおのずと交流の場になると思う。</p> <p>(2)廃小学校をリノベーション、再活用し、カフェや学校宿泊体験、校内彩園など、農作業を年配の人々におしえてもらう場所を市と町地域が一丸となってやっていると良いと思う。</p>	<p>合は、ご家族等で遊び場としてご利用いただくこともできます。料金は1時間当たり、中学生以下が200円、高校生以上が300円です。ご利用いただける時間帯については、TTCアリーナにお問い合わせください。</p> <p>また、市民プールについては、令和7年7月のオープンに向けて、新しい市民プール（B&amp;G海洋センター）を府中駅南側に建設中です。プールは25m（6コース）、水深は1.1mです。休日には水遊びなどの遊泳利用もできるよう検討しています。</p> <p>今後の公園の整備等については、地域や関係部署と連携し、子育て環境に魅力ある公園施設の充実を図ってまいります。</p> <p>(2)廃校の利活用につきましては、全国的に様々な取組が行われているところですが、本市の場合、既に解体、売却、地元利用に供する等しており、新たに利活用を検討している物件はございません。しかしながら、今後、新たに廃校が発生した際には、地元の御意向も踏まえつつ、利活用も含めて様々な観点から検討させていただきたいと考えております。</p> <p>なお、市内小学校では米づくり体験、地域とともに花を育てる活動、地域の方が集える場としての</p>

	該当箇所	ご意見等の概要	ご意見に対する市の考え方
		(3)他地域から若者をつのれば出会いの場にもなると 思う。	CS カフェの設置など、各校の実態に応じて実施し ております。 (3)令和6年度は府中市制70周年記念事業として 「ゆるスポ運動会」を開催し、多数の若者たちにご 参加いただきました。今後も若者の出会いの場の推 進を検討してまいります。
24	P65 4 基本目標3 子育てができる 環境の確保につ いて	経済的な助成について、金銭面の支援だけでなく、 服や子供用品などリサイクル品を譲渡会する場がほ しい。公民館や空き家を活かしてそういう支援の場 にできないか。	子育て中の方の負担軽減や子育てのしやすさにつ ながる取組を考えるうえで、ご意見を参考とさせて いただきます。
25	P66 外国籍の家庭へ の対応	【重点政策】と記載されているが、それよりも深刻 で解決すべき課題や世代を超えた波及力の在る政策 がまだまだ他にあるにもかかわらず、なぜ重点政策 なのか理解できない。アンケート調査やワークショ ップでも話題になっていないのになぜなのか。ま た、その他の項目にも所々重点政策の記載がある が、全体的に子育て世帯や地域のニーズや府中市が 取り組むべき課題とピントが合っていないと感じ る。重点政策を示すということは、府中市が何を課 題と考えていて、5年間で集中的に何に取り組むの	現在、当市においても外国人人口が増加してお り、関係団体ヒアリング結果にもありますように、 外国籍家庭への対応は課題と認識しております。ご 意見を踏まえ、本計画の第2章「府中市のこども・ 子育てに関する 現況と課題」及び「3府中市のこ ども・子育てにおける課題・方向性」に追記しまし た。

	該当箇所	ご意見等の概要	ご意見に対する市の考え方
		かというとても強いメッセージを出すということである。優先順位や政策的波及力を考慮していただき、重点政策を明記するのであればその理由をきちんと明記すべきである。	
26	P66 かかりつけ医	府中市には産科が無く、小児科も少ないのが少子化対策の1番の問題である。特に、産科については、福山市北部や尾道市の産科が次々と撤退しており、危機的状況である。医療政策の主導が国・県であること、この計画は理念的なことを明記するだけで各取組の詳細を明記するものではないとしても、危機的状況であること、何としてでもこの状況を改善しなければならないことはメッセージとして明記する方が良いのではないか。	本市において小児科・産婦人科の医師の確保については、病院、行政、関係機関等で協力して、大学病院や近隣の医療機関に診療支援をお願いするとともに、福山市をはじめとした近隣の各市町と連携して、身近な地域でこどもを産み育てられる医療体制の確保に努めております。この他にも、市独自の医師奨学生制度による医師の育成や小児科・産婦人科には特に手厚くした医療機関開業支援等補助制度の実施や専門の医師や助産師に直接相談できる小児科・産婦人科オンライン相談事業などの取組も進めております。
27	P66 医療を受けやすい環境づくり	小児科、内科が少なく、どこに行っても長く待つ。診療所開業を市が支援するなどして、医者やクリニックを増やすのが先だと思う。その後、アプリなどで市と連携して、待ち時間案内などを出すのが良い。	広島県が定めた「医師確保計画」において、広島県は「産科・小児科などの医師が全国と比較して少ない状況」とあり、その中でも福山・府中二次医療圏域は特に厳しい状況にあることから、周産期医療や小児医療を維持していくため、医師の派遣元である大学病院及び県のいずれも医療機能の集約化、拠点化を目指しており、医師の確保が各市町や各医療
28	P66 医療を受けやすい環境づくり	府中市に小児科が少ない。また、府中市民病院の小児科の先生を常勤にしてほしい。毎日違う先生だとかかりつけ医にならない。	

	該当箇所	ご意見等の概要	ご意見に対する市の考え方
			機関の思うようにはならない状況にありますが、引き続き地域に必要な医療機能の確保に努めていきます。
第5章 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策			
29	P89 一時預かり事業	オール府中の実現、実際の入所に接続させるために、私立保育所での実施も積極的に推進すべきではないか。	一時預かり事業と同様に利用要件なしで利用できる「こども誰でも通園制度事業」が令和8年度から実施予定となっております。こどもを中心に、こどもの健全な成長を第一に考えながら、府中市の実情にあった制度となるよう実施施設を含め、検討してまいります。
30	P91 病児保育事業について	(1)病児保育がどのようなときに利用できるのか、下の子の育休時にも利用できるのか知りたい。  (2)広谷保育所での体調不良対応型の預かりについて、制度を詳しく知りたい。広谷保育所だけでなく、今後私立の保育園などにも広げていくことがで	(1)病児保育事業は、児童が病気の状態（回復期も含む）にあり集団保育が困難な期間に保護者が就労等により保育できない場合に一時的に保育するものとさせていただきます。  病気状態の児童は、体力的にも精神的にも不安定な状態であることから、就労等でどうしても保育が難しい場合に限り、お預かりするものとしておりますので、育児休業中でのご利用はできないことをご理解ください。  (2)府中市病児保育事業（体調不良児対応型）は、保育を必要とする乳児・幼児が保育中に体調不良となった場合に、安心かつ緊急的な対応を図る事業及び

	該当箇所	ご意見等の概要	ご意見に対する市の考え方
		<p>きるように制度を整えてほしい。</p>	<p>保育所に通所する児童に対して保健的な対応等を図る事業として実施させていただいております。</p> <p>実施施設は府中市立広谷保育所としておりますが、市内その他各園所におきましても看護師の配置等はありませんが、保護者の皆様の子育てと就労の両立支援と通所児童の健全な育成、安全、安心に繋がるよう対応をしているところです。</p>
31	P91 病児・病後児保育について	<p>保育園、幼稚園に通っていなくても預かってもらえるようにしてほしい。また、病児保育をしてほしい当日の朝の受診後でも預かれるようにしてほしい。</p>	<p>病気状態の児童は、体力的にも精神的にも不安定な状態であることから、保育所での集団経験のない児童が、保護者から離れ過ごす不安感等を考慮し、保育所等へ在籍中の児童を対象としています。</p> <p>当日急に利用が必要となった場合は、午前10時までには電話相談で対応可能な場合もありますが、病氣中児童の受け入れにおいて安全な職員体制を整えるために、事前の予約へのご理解をお願いいたします。</p>
32	P97 親子関係形成支援事業について	<p>赤ちゃんを迎えるにあたっての過ごし方やこれまでの生活がどのように変わっていくかなどの知識面の講座や、人形での実体験だけではなく、赤ちゃんとの触れ合いなどを組み込み、生活のギャップを少しでもなくして、育児に悩むことが減ればよいと思う。また、実際に経験したママの体験談や親子サー</p>	<p>パパママ教室において、赤ちゃんを迎えるまでの過ごし方や赤ちゃんが生まれてからの生活や赤ちゃんのかかわり方などについて、より充実した講座となるよう検討してまいります。</p> <p>また、各種手続きや乳幼児健康診査児などで市内の支援センターの紹介等しております。イベント企</p>

	該当箇所	ご意見等の概要	ご意見に対する市の考え方
		<p>クル、支援センターの活動の実態紹介などたくさんできることがあると思う。</p> <p>同じ月齢（年齢）の子どもをもつママさんの集まりを企画してもらったり、引っ越してきたときに、支援センターの紹介をしてもらったり、一緒に見学に行ってもらえたりするような支援があれば心強い。</p>	<p>画等、ニーズを把握しながら検討してまいります。</p>
33	P98 乳児等通園支援事業	<p>全国的に賛否両論が渦巻いており、府中市も国基準をそのまま採用するのではないかと大変危惧している。府中市における少子化が進行していること、国が示している月10時間では到底足りないことを十二分に踏まえ、近隣市町と差異化ができ、子育て支援策として十分な取組となるよう、少子化を何とかする、子育て世帯を力強く支援するという府中市の決意がしっかりと伝わる制度を構築されることを強く要望する。</p>	<p>こども誰でも通園制度につきましては、令和6年度に全国他市町で試行的事業として実施されております。その検証結果を踏まえるとともに、こどもを中心に、こどもの健全な成長を第一に考えながら、令和8年度の実施に向けて、府中市の実情にあった制度となるよう検討してまいります。</p>